

地域保健学

責任者名：田中 秀樹(衛生学 准教授)

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：講義

◆担当教員

田中 秀樹(衛生学 准教授)

尾崎 哲則(医療人間科学 教授)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

尾崎 愛美(衛生学 助教)

五十里 一秋(小児歯科学 兼任講師)

福澤 洋一(医療人間科学 兼任講師)

唐鎌 史行(衛生学 兼任講師)

中井 久美子(衛生学 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯科医師として地域歯科保健活動を通じて国民の健康の保持増進に寄与するために、歯科疾患の疫学的特徴と病因論に基づく保健活動の方法の基本と保健行政のしくみを理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- ①わが国の社会保障制度における保健の位置づけと医療・福祉との関係性を説明できる。
- ②地域歯科保健活動における健康診断・診査および保健指導の仕組みをライフステージ毎に列挙できる。
- ③日本における口腔の健康状態を認識し、問題点を列挙できる。
- ④健康増進施策で歯科領域が果たす役割を説明できる。
- ⑤地域保健の視点で我が国の人口事象の問題点を具体的に述べることができる。
- ⑥地域保健活動の計画や活動の評価で応用される疫学研究の種類、特徴を説明できる。

◆評価方法

平常試験 (50%) および定期試験 (50%) で評価する。平常試験では、振り返りシートへの記入と解説をもってフィードバックとする。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
田中 秀樹	木曜日 17:00~18:00 衛生学 研究室	tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp	
尾崎 哲則	木曜日 17:00~18:00 医療人間科学 研究室		
高森 一乗	木曜日 17:00~18:00		

	小児歯科学 研究室		
福澤 洋一	授業終了後に質問を受け付ける。		
五十里 一秋	授業終了後に質問を受け付ける。		
唐鎌 史行	授業終了後に質問を受け付ける。		
尾崎 愛美	金曜日 17:00~18:00 衛生学 研究室		

◆授業の方法

教科書および資料をもとに毎回の授業を進め、平常試験で理解度の確認と振り返りを行う。

【実務経験】

田中 秀樹：労働安全衛生法施行令に基づく歯科医による健康診断の実務経験から産業歯科保健の実際を説明したいと考えています。

尾崎 哲則：健康日本 21（第二次）の策定など行政政策策定に関わってきた経験等から成人・高齢者歯科保健の意義、目的および実際を各方面から説明したいと考えています。

高森 一乗：歯科医師として障害児の歯科診療に従事する立場から、障害児・者の口腔保健の実際を説明したいと考えています。

唐鎌 史行：労働安全衛生法施行令に基づく歯科医による健康診断の実務経験から産業歯科保健の実際を説明したいと考えています。

五十里一秋：地域保健行政に長年従事してきた経験から母子歯科保健の意義、目的および実際を説明したいと考えています。

福澤 洋一：学校歯科医および学校歯科医会の長年の経験から学校歯科保健の意義、目的および実際を説明したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	口腔衛生学 2020	松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 他	一世出版	2020
教科書 2	pdf 資料配布			
参考書 1	新編 衛生学・公衆衛生学 第 1 版	安井利一・他編	医歯薬出版	2021
参考書 2	口腔保健・予防歯科学	安井利一, 宮崎秀夫, 山下喜久, 他	医歯薬出版	2017
参考書 3	小児歯科学 (医歯薬出版) 第 5 版	白川哲夫, 福本敏, 飯沼光生, 他	医歯薬出版	2017

--	--	--	--	--

◆DP・CP

DP 2

コンピテンス：世界の現状を理解し，説明する力

コンピテンシー：国際社会の現状と背景を理解し，地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

CP 2

国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し，基礎・臨床・社会医学の知識を基に，国際社会で活躍できる基本的能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

予習として、各授業回の学習項目と学修到達目標からキーワードを抽出し、教科書等で確認しておくこと。

復習として、各授業回で理解が不足している事項について復習するとともに、各授業内容が歯科医師国家試験でどのように問われているかを確認すること。

◆準備学習時間

各授業回について予習 1 時間、復習に 1 時間、合計 30 時間を準備学習にあてること。

◆全学年を通しての関連教科

第 3 学年 前期 公衆衛生学

第 3 学年 前期 口腔衛生学

第 6 学年 前期 歯科保健医療と社会

第 6 学年 前期 医療の 情報化・ 国際化

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.1	6	【遠隔】 1. 地域保健（総論） 1)意義・目的，保健対策の基本 ・プライマリーヘルスケア ・ヘルスプロモーション ・集団ストラテジーと高リスクストラテジー 2)日本の保健行政	・地域保健の意義・目的を理解し，説明できる。 ・健康増進施策に関連する基本事項を理解し，説明できる。 ・日本の保健制度における歯科保健対策の概要を学び，要点を列挙できる。 ・歯科保健対策の根拠法を学び，概要を列挙できる。	田中 秀樹	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				と歯科保健 3)歯科保健対策の法的根拠 (教1) pp.24-46			
2		4.1	7	【遠隔】 2. 母子保健 1)意義・目的 ・乳幼児・妊産婦の口腔の疾患・異常 2)法的根拠 3)母子歯科保健活動の概要 (教1) pp.336-365	・母子保健の意義・目的を理解し、説明できる。 ・乳幼児・妊産婦の口腔の健康状態を知り、疾患・異常を具体的に列挙できる。 ・母子歯科保健活動の法的根拠を知り、要点を列挙できる。 ・わが国の母子歯科保健活動の内容を知り、説明できる。	田中 秀樹	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
3		4.8	6	【遠隔】 2. 母子歯科保健 4)母子歯科保健活動の実際 ・1歳6か月児歯科健康診査 ・3歳児歯科健康診査 (教1) pp.336-365	・母子歯科保健活動における歯科医師の役割を理解し、説明できる。 ・1歳6か月児健康診査および3歳児健康診査における歯科健康診査の内容について知り、要点を列挙できる。 ・妊産婦に対する歯科保健対策の内容について知り、要点を列挙できる。	五十里 一秋	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
4		4.8	7	【遠隔】 3. 学校歯科保健 1)意義・目的 2)学齢期の口腔の健康状態 3)法的根拠 4)学校歯科保健活動の概要 (教1) pp.366-377	・学校歯科保健活動の意義・目的を学齢期の好発疾患の特徴と関連付けて説明できる。 ・学校歯科保健の活動領域と法的根拠の関係性を説明できる。 ・学校歯科健康診断の診査の流れと事後措置について説明できる。	尾崎 哲則	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
5		4.15	6	【遠隔】 3. 学校歯科保健 5)学童期の歯科保健活動の実際 ・学校歯科医の役割 ・歯科保健教育活	・学校歯科医の役割を理解し、説明できる。 ・学校歯科保健活動の実際について理解し、要点を列挙できる。 ・学校保健教育(保健学習・保健指導)の進め方について理解を深め、説明できる。	福澤 洋一	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				動 (教1) pp.366-377			
6		4.15	7	【遠隔】 4. 産業保健 1) 意義・目的 ・職域成人の健康状態 2) 法的根拠 3) 口腔領域の職業病 (教1) pp.378-390	・産業従事者に対する保健活動の意義・目的を学び、説明できる。 ・産業従事者の口腔の健康状態を知り、問題点を列挙できる。 ・労働安全衛生法などの労働衛生法規と産業保健における歯科医師の役割を理解し、説明できる。 ・口腔領域の職業病について知り、要因と疾病を具体的に列挙できる。	田中 秀樹	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
7		4.22	6	【遠隔】 4. 産業歯科保健 4) 歯科保健活動の実際 ・歯科保健管理 ・健康増進対策 (教1) pp.378-390	・産業従事者への各種健康診断を中心とする歯科保健管理について理解を深め、説明できる。 ・産業従事者の健康増進対策における歯科保健対策の役割について理解し、要点を列挙できる。	唐鎌 史行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
8		4.22	7	【遠隔】 5. 成人・高齢者歯科保健 1) 意義・目的 ・口腔の健康状態 2) 歯科保健対策 ・法的根拠 ・活動内容 (教1) pp.391-404	・成人・高齢者歯科保健の意義・目的を理解し、説明できる。 ・成人・高齢者における口腔の健康状態の現状を知り、要点を列挙できる。 ・健康増進法に基づく歯周病検診の内容について理解を深め、説明できる。 ・介護保険法に基づく各種サービスでの歯科の役割を理解し、説明できる。 ・老人関係施設の種類と法的根拠を知り、要点を列挙できる。	尾崎 哲則	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
9		5.13	7	【対面】 平常試験	・第1～8回の範囲について、試験により知識の修得度を確認する。 ・理解が不十分と自覚された項目を振り返りシートに書き出す。 ・授業資料とノートをもとに抽出された事項を再確認する。 ・平常試験後、解説を行いフィード	田中 秀樹 中井 久美子 尾崎 愛美 尾崎 哲則	B-4-2) 保健医療統計

					バックとする。		
10		5.20	6	<p>【遠隔】</p> <p>6. 調査結果からみる日本の口腔保健の状況</p> <p>1) 歯科疾患実態調査</p> <p>2) 学校保健統計調査</p> <p>(教1) pp.57-82</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科疾患実態調査と学校保健統計調査の概要を知る。 ・ 口腔の健康状態を、疾病別、年齢階級別に説明できる。 ・ 口腔の健康状態の現状から、今後、日本で求められる口腔保健の方向性を考察できる。 	尾崎 愛美	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
11		5.20	7	<p>【遠隔】</p> <p>7. 日本の健康増進対策と歯科保健</p> <p>1) 健康日本 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康日本 21 (第1次、第2次) の概要 ・ 歯・口腔の健康に関する取組み <p>2) 歯科口腔保健推進に関する法律</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律の概要と目的 ・ 歯科口腔保健を推進のための基本的事項 <p>(教1) pp.37-46</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の健康増進施策である健康日本 21 の基本的方針について知り、説明できる。 ・ 健康日本 21 の「歯・口腔の健康」の方向性と目標について学び、要点を列挙できる。 ・ 歯科口腔保健の推進に関する法律の理念、基本方針、歯科医師としての責務を理解し、要点を列挙できる。 ・ 歯科保健を推進するために設定された各目標値の詳細を疾病構造と関連付けて説明できる。 	田中 秀樹	B-4-2) 保健医療統計
12		5.31	6	<p>【遠隔】</p> <p>8. 障害児・者の口腔保健</p> <p>1) 口腔の健康状態</p> <p>2) 保健・福祉・医療</p> <p>3) 歯科医療管理</p> <p>(教1) pp.405-417 第5版</p> <p>(参3) pp.360-388 第5版</p> <p>pp.363-383 第4版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児・者の口腔の健康状態と問題を知り、説明できる。 ・ 障害児・者の口腔保健に関する保健・福祉・医療サービスの現状を知り、説明できる。 ・ 障害児・者の口腔ケアについて理解し、要点を列挙できる。 	高森 一乗	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

13	5.31	7	<p>【遠隔】</p> <p>9. 疫学-1</p> <p>1)疫学概念</p> <p>2)疫学指標</p> <p>3)記述疫学</p> <p>4)生態学的研究</p> <p>5)横断研究</p> <p>(教) pp.84-108</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学概念と目的を知り、説明できる。 ・地域保健活動における疫学研究の有用性について説明できる。 ・疾病の頻度を表す指標、疾病と要因の関連性を示す指標について理解し、それぞれの指標が示す意味を説明できる。 ・疫学研究手法で観察疫学研究に分類される記述疫学、生態学的研究、横断研究の特徴について学び、要点を列挙できる。 	田中 秀樹	B-4-1) 歯科疾患の疫学
14	6.3	6	<p>【遠隔】</p> <p>10. 人口・保健統計</p> <p>1)人口・保健統計の意義</p> <p>2)人口静態統計</p> <p>3)人口動態統計</p> <p>4)生命表と平均余命</p> <p>5)国民の健康状態と受療状況</p> <p>(教1) pp.430-445</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健領域における人口統計の意義を理解し、説明できる。 ・国勢調査結果から、我が国の人口問題について知り、説明できる。 ・出生率、死亡率、平均余命が保健状態の指標として有用であることを理解し、各数値が示す意味を説明できる。 ・国民生活基礎調査と患者調査結果から、我が国の国民の健康状態と受療状況について知り、問題点を列挙できる。 	尾崎 哲則	B-4-1) 歯科疾患の疫学
15	6.3	7	<p>【遠隔】</p> <p>11. 疫学-2</p> <p>1)コホート研究</p> <p>2)症例対照研究</p> <p>3)介入研究</p> <p>4)偏りと交絡</p> <p>(教) pp.84-108</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究手法で観察疫学研究に分類されるコホート研究と症例対照研究の特徴について学び、説明できる。 ・疫学研究手法の介入疫学研究について学び、特徴を説明できる。 ・誤差と研究の精度・妥当性との関係について学び、その意義を説明できる。 ・疾患と要因の關係に影響する交絡因子について知り、疫学研究でこれを考慮する意義を説明できる。 	田中 秀樹	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-4-1) 歯科疾患の疫学

